

東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

大森・選択専攻科目

内分泌外科（4週以上）

1 研修プログラムの目的と特徴

外科の中で内分泌外科は、やや専門化した領域と言える。外科的技術の前にまず特殊な病態を理解しなければならない。対象臓器が特有のホルモンを産生し、種々の身体機能を維持しているからである。単に病変を手術で切除するだけでなく、切除量が術後のホルモン環境を左右することから、疾患病態、年齢、性、他臓器への影響を考慮した包括治療を習得することを目的とする。

2 プログラム管理運営体制

内分泌外科スタッフにより管理運営される。必要があれば東邦大学一般・消化器外科学講座スタッフの助言、指示を受ける。

3 教育プログラム

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択研修での研修期間は4週以上である。
外来診療、検査、手術、病棟管理を臨床研修指導医とともに経験する。

3-2 一般目標（GIO）

研修医の将来の専門性にかかわらず、医師として小児外科疾患に適切に対応できる基本的な診療能力（態度、技能、知識）を修得すること、また内分泌外科における疾患を理解し、その病態、年齢、性、他臓器への影響を考慮した包括治療を習得することをGIOとする。

3-3-1 行動目標（SBOs）

- 1) 内分泌疾患の病態を理解し、正しい診察を行うことができる。
- 2) 診断のための適切な検査を選択できる。
- 3) 外科適応を決定することができる。
- 4) 局所解剖を理解できる。
- 5) 手術法を選択できる。
- 6) 術後管理の要点を理解できる。

3-3-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

- 1) 問診で内分泌疾患の可能性を疑うことができる。
- 2) 的確な診察ができ、記載できる。
- 3) 血液検査結果を評価できる。

- 4) レントゲン撮影所見を評価できる。
- 5) 超音波検査を行い、所見を評価できる。
- 6) 生検を実施できる。
- 7) 手術の助手ができる。
- 8) 臨床研修指導医の下で手術の執刀ができる。

3-3-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- 1) 頸部腫脹・腫瘤
- 2) 嘔声
- 3) 嚥下障害
- 4) 心悸亢進
- 5) 手指振戦
- 6) 浮腫
- 7) テタニー(口囲、手足のシビレ、硬直)
- 8) リンパ節腫脹
- 9) 甲状腺中毒症
- 10) 甲状腺機能亢進症
- 11) 甲状腺機能低下症
- 12) 副甲状腺機能亢進症
- 13) 副甲状腺機能不全
- 14) 高 Ca 血症
- 15) 低 Ca 血症
- 16) MEN(多内分泌腫瘍症)
- 17) 甲状腺癌
- 18) Basedow(Graves)病
- 19) 橋本病(慢性甲状腺炎)
- 20) 腺腫様甲状腺腫
- 21) 濾胞腺腫

・臨床研修ガイドラインにおいて挙げられた、「経験すべき症候（29症候）」および「経験すべき疾病・病態（26疾病・病態）」についても各研修分野で該当するものを外来診療または受け持ち入院患者（合併症含む）で自ら経験する。「経験すべき症候（29症候）」および「経験すべき疾病・病態（26疾病・病態）」の詳細については別紙参照のこと。

・上記症候、疾病・病態を経験したことの確認については各研修分野の臨床研修指導医による病歴要約の確認、および卒後臨床研修/生涯教育センターにおいて全研修医の病歴要約の確認をもって行う。

3-3-2-C 特定医療現場の経験

局所解剖を理解した上で甲状腺超音波検査を行い、所見について評価することができる。

3-4-1 学習方略 (LS)

- 1.回診: 手術、外来などで不可能な場合を除き原則として毎日午前9時より行う。
- 2.症例検討会: 毎週1回月曜回診前より行うほか、回診時に随時行う。
- 3.勉強会、抄読会: 毎週月曜に勉強会。入院症例に関連した勉強会を行う。2週に1回、抄読会を行う。抄読会は、臨床研修指導医から指示された欧文文献を読み、発表する。文献は、自分で内分泌に関する興味あるものを選んで行ってもよい。
- 4.研修医症例発表: 毎月1回担当症例を発表する。

3-4-2 週間スケジュール

研修期間中の勤務時間は、原則として午前9時から午後5時。しかし、時間外に症例検討会、抄読会、勉強会などは、時間外に及ぶことがある当直は直接指導の医師とともに従事する。

3-5 評価 (EV)

内分泌疾患の病態の理解と外科的対応の把握(知識)、診察手技、態度、積極性、検査の評価および手技、手術の理解が、一般外科医として十分かどうかを基準として評価する。

プログラム修了時に指導責任者と直接臨床研修指導医とで、医師としての適性(態度、積極性)、診療研修実績(外来、検査、手術)、教育行事への出席状況を総合評価する。

3-6-1 指導体制

本プログラムの最高指導責任は、東邦大学一般・消化器外科内分泌外科の指導責任者にある。研修医は、直接臨床研修指導医の下で日常診療、手術に参加する。

3-6-2 臨床研修指導医

添付資料『臨床研修指導医』該当診療科の臨床研修指導医、及び指導医責任者を参照のこと。

3-6-3 協力施設

※詳細は臨床研修病院群[プログラム冊子添付資料]参照